

早川よしゆき 市政報告

第37号

祝 福山市 市制施行100周年

今年、わたしたちの

まち福山は、市制施行100周年という大きな節目を迎えます。現在では人口約47万人、面積約518km²の広島県東部の中核都市、中国地方で4番目の人口規模の都市となつています。今日では、一定の人口と都市機能を有する本市が中心となり、備後圏域での新たな広域連携の取り組みとして、6市2町で連携中核都市圏構想の推進を行つてい

ます。

本年の主な事業は、市民全員参加で喜び祝う市制施行100周年記念事業や、競馬場の跡地利用として、総合体育館や公園の整備を行います。また、住民自治の確立に向け、市民が主役として活躍できるまちづくりの推進のために、地域の市民の活動の拠点となる地域交流施設の実施計画などが行われます。先月、昨年実施された



昭和36年 福山駅前の様子

国勢調査の速報値が公表されましたが、本市の人口は、平成二十二年の調査と比較して約3500人の増加となりました。

これは福山市立大学の開学や、保育サービスや高齢者施設の充実などで、新たな人材の流れや、雇用の創出、出生数などの維持につながったものと考えます。

人口減少を抑えながら各世代が幸せを実感でき、心豊かに暮らせるまちづくりが本市においても求められています。

これまでの協働のまちづくりをさらに進めていき、誰もが安心して安全に暮らせるような街づくりを進めてまいります。

3月議会代表質問登壇

私は水曜会14名を代表し、3月議会にて代表質問をしました。

新年度予算について、行革について等、9項目について質問しました。教育問題について一部掲載します。

【質問】

教育委員会が目指す「福山100NEN教育」とは

【答弁】

小中一貫教育を全面実施するにあたり、特に「教師が教え込む授業」から「子どもたちが自ら学ぶ授業」への変換に取り組んでいる。しかしながら、身のまわりの問題を自分たちで解決したりすることが十分ではない等様々な課題がある。

「自律心などの人間性を育む、他人・社会のつながりを大切にすると個人を育む」という2つの観点で見直し、整理し継続し積み上げていく。これからの激しい社会を生き抜くために必要な創造性や問題解決力などのスキルとそれを活用する人としての豊かさ・人間性や倫理観を育て、学んだこと

を行動化できるようにする。私たちがみることのない次の100年へ向かう子どもたちがたくましく生き抜く姿を描いて「福山100NEN教育」とする。

まとめ

未来の子どもたちが背負う課題はあまりにも大きく多用だと思ふ。今以上に家庭・地域・学校が一体となり、「みんなが一人を、一人がみんなを」という概念がさらに重要か、と考える。



平成28年 3月定例市議会

早川佳行の
主な役職

62才

福山市議会議員

五期目

水曜会会長

議会運営委員会委員長

議会報告運営委員会委員長

総務委員会委員

行財政改革特別委員会委員

福山市個人情報保護審議会委員

福山市社会教育委員会委員

ふくやま美術館及び

書道美術館運営委員会委員

年3回(四月・十月・一月)に議会報告を発行します。で、ご意見、ご希望などをお聞かせ下さい。

早川 佳行

発行者

福山市議会 水曜会
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901
電話 972-3195
事務所 福山市加茂町上加茂 265
電話 972-8999
FAX 972-2093

水曜会

第37号

平成28(2016)年3月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



はらのまち福山

三月定例市議会

本議会は、二月十七日開会。三月十一日には、平成二十八年一般会計予算案や「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等」の事業実施を目的に編成された国の補正予算に呼応して対処する諸々の事業案など、すべて議案を原案どおり賛成多数で可決しました。

一般会計予算規模が三年ぶりの減額

市民生活に関連の深い



福山市議会 水曜会の面々

一般会計では、三年ぶりの減額ですが、輛小中一貫校整備や小中学校の耐震補強費を三月補正予算に前倒しした為です。補正の前倒し分を含めると総額は、前年度比0.7%増となります。歳入の根幹をなす市税は、707億円余で前年度当初比1.5%増。景気が低迷した法人市民税も企業の収益増で、微増。固定資産税も家屋の増築増加で伸びると想定しています。市債の状況は、3.2%減の1516億円余。臨時財政対策債を除く市

平成28年度予算概要

	前年度比
一般会計	1,659億円余 Δ1.2%
特別会計	1,032億円余 1.9%
企業会計	627億円余 4.1%
合計	3,320億円余 0.7%

平成27年度3月補正予算概要

一般会計	27億3,376万円
特別会計	△2億5,230万円
企業会計	△3億4,591万円
合計	21億3,554万円

平成28年度の主な新規・重点事業

○備後圏域の強化	
産業支援拠点の運営※	5,369万円
水産物ブランド化推進※	762万円
○まちづくり	
水呑交流館(仮称)の設計※	1,580万円
総合体育館設計など市営競馬場跡地整備	3億9,147万円
市制100周年記念事業の推進	1億7,287万円
○子育て・教育	
中学校給食モデル事業※	1,838万円
小中学校の校舎トイレの洋式化工事※	1億700万円
1人親世帯の学習支援※	375万円
市立大附属こども園(仮称)の建設※	3億5,450万円
○文化・スポーツ	
日本遺産認定事業※	660万円
鞆地区町並み保存費	2億1,050万円
JOCパートナー都市協定事業※	120万円
○安心・安全	
小中学校の校舎耐震化	4億3,508万円
空き家対策※	1,750万円
特別養護老人ホームの建設費補助※	5億6,735万円

※は、新規事業です。



駅家東小 耐震工事

前倒しで、小中学校の耐震化を加速、年度末で82%完了

債残高は、総額803億円余で、前年度から約62億円減少する見込みです。財源不足を補う為の財政調整基金は、前年度同様に取り崩しはなく、年度末の財政調整基金の残高は、163億円余となります。

歳出の主なもので扶助費は、年金生活者に対する1人3万円の臨時福祉給付金2億円や、障害福祉サービス事業が利用者の増加で約7億円などを計上したことで、前年比12.7%増の454億円となります。人件費は、2.5%減の273億円余。将来都市に貢献する投資的経費は、市制100周年の記念事業の推進、連携中枢都市圏構想による広域連携、次代を担う人材育成、鞆地区のまちづくりの推進、空き家対策など重点24施策に計60億8200万円余となります。なお、補正予算の総額は、21億3554万円です。主に小中学校の耐震補強費の前倒し分です。

水曜会の賛成討論 一般会計の賛成討論要旨

本会計予算については、今日的な社会状況をみると引き続き社会保障関係費が大幅に増加するなど今後とも厳しい財政環境が続く中、市制施行100周年への対応や協働のまちづくり、連携中枢都市圏構想など、新たな次代のニーズに対応する予算編成となるなど将来を展望できるものとなっている。今後とも経営的視点で、戦略的な事業展開を図り、創意と工夫による効率の執行により、投資的経費の増大を確保する中で、財政の健全化に努める事を求め、賛成しました。

水曜会 代表質問



早川佳行議員

水曜会 個人質問



大田祐介議員



榊原則男議員